

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2023年 月 日

公益社団法人 応用物理学会
リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会 ：主催：北海道支部 共催：日本物理教育学会北海道支部，電気学会北海道支部，電子情報通信学会北海道支部，北海道大学工学部 後援：札幌市教育委員会
開催責任者 （支部長または分科会幹事長）：北海道支部長 植村 哲也 公印略
開催連絡責任者 ：北海道支部 庶務幹事 山崎 憲慈
連絡先 ：札幌市北区北13条西8 北海道大学大学院工学研究院 応用物理学部門 TEL 011-706-6637 k-yamazaki@eng.hokudai.ac.jp

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載，もしくは会場毎収支のご記載，どちらでも問題ありません。会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上，ご報告ください。オンライン会場と対面実施会場は該当ページを複製し，分けてご報告ください)

事業名 ：リフレッシュ理科教室（北海道大学工学部会場） ーサイエンスオリエンテーリング 2023 in 札幌	
リフレッシュ理科教室補助金額 ： 320,000 円	
開催日 ： 2023 年 10 月 21 日	
開催場所 ： 北海道大学工学部アカデミックラウンジ1・2	
決 算 （収入合計と支出合計は同額になります）（単位：円）	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 320,000 円	印刷製本費 218,900 円 (資料・チラシ作成等)
参加費	賃借料 69,500 円 (会場費・プロジェクター等)
広告展示料	会議費 48,325 円 (弁当代等)
支部分科会からの支援金 121,339 円	通信運搬費 87,210 円 (郵送料等，ポスター送付)
企業からの協賛金	消耗品費（実験材料・文具代等） 62,612 円
助成金（県・市など）	臨時雇賃金 【支払人数計 13名】 (アルバイト賃金等) 49,000 円
電気学会北海道支部 100,000 円	諸謝金 【支払人数計 19名】 (講師謝礼等) 105,792 円
電子情報通信学会北海道支部 100,000 円	システム利用料(ZOOM, Webex 他)
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ)
合 計 641,339 円	合 計 641,339 円

決算報告書は，支部（分科会）会計後1か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要です)。講師謝礼金やアルバイト代については，支払人数を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室（北海道大学工学部会場）
－サイエンスオリエンテーリング 2023 in 札幌

開催日： 2023年 10月 21日

開催場所：北海道大学工学部アカデミックラウンジ1・2

参加者人数（スタッフ以外の参加者を記述してください）：合計 76 名

内訳	① 児童・生徒：	38	名
	② 保護者・一般：	36	名
	③ 教諭等：	2	名

内容（委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

申請当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応を想定していたため昨年と同規模の定員 50 名程度として実施する予定であったが、令和 5 年 5 月 8 日から「5 類感染症」に変更となり、この変更と合わせ、国の基本的対処方針及び業種別ガイドラインが廃止されたことから、イベント開催における道の要請についても、5 月 7 日をもって終了した。これに伴い、イベント制限の要請も終了したため、定員を 70 名程度に増やし、申し込み受付を進めた。当日はインフルエンザの流行時期と重なっていたことも有り、行動制限中に開催した感染防止対策のノウハウを活用し、会場の適度な換気、希望者への不織布マスクやラテックスグローブの配布、各所へのアルコール消毒液の設置を昨年度と同様に継続した。

本事業では例年、日本物理教育学会北海道支部との共催により、地域の理科教育に尽力されている中学高校の理科教員、元教員の先生方などにご協力いただき、多くの理科実験テーマの演示を行っている。イベント制限の解除が周知されてからすぐに日本物理教育学会北海道支部の担当者と打ち合わせを進めた結果、ブース数を昨年比で 1.5 倍に増やすことができた。(今年度は 19 ブースを設置した)。定員を 70 名程度に設定したが、申し込み開始からわずか 4 日で定員に達し、その後もキャンセル待ち希望の連絡が届くなど、地域の児童・生徒に対する理科教育の要望の高さを改めてうかがい知る機会となった。中学高校の教員の参加もあり、「自分の授業での実験に向けていろいろな体験ができ大変ためになりました。ありがとうございました。」とのコメントを頂き、中等教育への貢献を実感できる機会ともなった。

昨年度に引き続き今年度もリフレッシュ理科教室北大会場では、各ブースの理科実験の様子の写真、動画撮影を行った。本データは、ホームページにおいて理科教育・広報コンテンツとして公開することを目指し、編集作業などに取り組んでいきたいと考えている。

当日は 8 時より準備をはじめ、9 時より受付を開始した。終了時間の 12 時まで理科実験ブースを体験して回るスタンプラリー形式にて実施した。

応用物理学会北海道支部では、リフレッシュ理科教室北大会場開催の案内のため、札幌市内の小学校・中学校・高等学校および科学館・児童館など計 500 以上の施設にパンフレット・ポスターを配布するなど、本事業の周知・普及に努めている。今後も地域の児童・生徒に対する理科教育活動を最重要事業の一つと位置づけ、本事業を継続的に実施していきたいと考えている。



実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要です)。

リフレッシュ理科実施報告書

リフレッシュ理科教室実施報告書（2/2）（オンライン実施形式）

以下のとおりご報告いたします。

事業名 ：リフレッシュ理科教室　－（副題を記載）－
開催日 ：　年　月　日から　年　月　日まで
開催場所 （同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください）： 記載例：オンライン会場（ZOOM）、オンライン会場（ZOOM+YouTube）等、（）内にツール名を記載
参加者人数 （スタッフ以外の参加者を記述してください）：合計　　名 内訳　① 児童・生徒：　　　　　名 ② 保護者・一般：　　　　　名 ③ 教諭等：　　　　　　　名
下記情報がお分かりになる場合は、実施形態に応じて適宜ご教示ください。 PV数 （オンデマンドの場合など）：合計　　回， 送付キット数 ：合計　　個， 再生回数 （YouTube 動画等の場合）：合計　　回， チャンネル登録者数 ：合計　　人，
内容 （委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。） 例：各会場の運営や参加対象などの特徴，教員対象の講演会・講習会，教育委員会との連携，地方公共団体との協力，他の団体との協力など。また，補助金に対する要望事項，他支部でも参考になる事項，良かった点，悪かった点など ※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容をお願いいたします。 ※肖像権などにご配慮いただき，後ろから撮影した写真等をご利用ください。

実施報告書は，リフレッシュ理科教室開催後 1 か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください（原本不要です）。